

## 新庁舎完成までの道のり

時 期	内 容
平成28年4月	熊本地震により被災
9月	町議会新庁舎建設特別委員会の設置
平成29年 1～3月	町内各種団体などへ新庁舎建設の基本方針などについて説明
3月	大津町復旧・復興計画策定
4月	新庁舎建設検討委員会の設置
5月	住民アンケート調査実施（町内全世帯対象）
7月	基本構想に対するパブリックコメント実施
9月	基本構想策定
10月	新庁舎建設計画についての住民説明会開催 基本計画案に対するパブリックコメント実施
12月	基本計画策定
平成30年 9月～12月	基本設計・実施設計策定
令和元年9月	建設工事着工
令和3年5月	建設工事完了
6月22日	新庁舎落成式
7月12日	新庁舎開庁（予定）

## 駐車場にご注意ください

新庁舎の建設工事は完了しましたが、今後、庁舎周辺の整備工事を行うため、しばらくの間は来庁者駐車場と臨時駐車場をご利用ください。仮設庁舎を解体するため、北側道路が一部通行止めになります（8月～令和4年3月予定）ので、ご理解とご協力をお願いします。  
※工事進捗に伴い、臨時駐車場の場所が変わりますので随時広報おおづや町ホームページでお知らせします。



### 落成式開催

熊本地震で被災し、再建を行っていた役場新庁舎が完成し、6月22日に落成式を執り行いました。

はじめに、熊本地震の犠牲者に黙とうをささげ、金田町長が「新庁舎の完成を迎えるに当たり、ご尽力いただいた家人前町長をはじめ、国や県、各企業、住民の皆様のお陰で無事にこの日を迎えることができたことを深く感謝いたします。今後は、駅周辺や旧道沿いがにぎわいのあるまちづくりを目指します」と式辞を述べました。

新庁舎建設に尽力された工事関係者



正面玄関前で行われたくす玉割り

には金田町長より感謝状が贈られました。その後、家人前町長による万歳三唱を行い、正面玄関でくす玉を割り、新しい庁舎の完成を祝いました。

### 新庁舎でより良い住民サービスを

熊本地震から5年。新庁舎の建設に当たっては、行政サービス、コミュニティの拠点としての役割を果たす「大津の未来を支え、町民と共に歩む、安全・安心な庁舎」として計画をスタートしました。また、専門委員会や町民アンケートなどで住民の皆さんの意見をもらいながら造り上げました。

震災後、プレハブの仮庁舎で運営するに当たり、一時的に別の建物で業務を行っていた部署も今回集約されます。また、新庁舎には旧庁舎にはなかつ



震災前の大津町役場旧庁舎

た新たな設備も設け、安全・安心で利便性が高い造りとなっています。次のページからフロア案内図や新しい機能をご紹介します。

# 新たなまちづくりの拠点へ

平成28年熊本地震により被災した大津町役場庁舎。それから5年が経過し、今年7月に新庁舎が開庁します。新庁舎は熊本地震を経て、復興のシンボルとして私たちと共に歩んでいきます。これから新庁舎を拠点に新たなまちづくりを進めるために、新しい庁舎の特色やさまざまな思いをご紹介します。

着工

100%



1年8カ月続いた「新庁舎レポート」ついに完走

完成

### 町民の皆様が主役のまちづくりへ

新庁舎の完成、誠にありがとうございます。温かいご支援とご協力をいただいた皆様に、厚く御礼と感謝を申し上げます。

熊本地震から早5年が過ぎ、創造的復興のシンボルとして建設された新庁舎。来庁された方が戸惑うことなくサービスを受けられるよう機能的に工夫された部屋の配置となっています。更には、専門部署の配置や防災の拠点機能も充実しています。議会関係では、多様な情報化社会に対応できる映像設備やICT機能も整備され、情報発信も充実するなど、多くの皆様が気軽に傍聴できる議場となっています。

また、4階から阿蘇方面が一望できるロビーなど、すべてが町民の皆様に親しまれることと思います。



きはらのりお 桐原則雄 議長

町の未来を支え、町民の皆様が主役となり、気軽に利用される安全・安心な令和の時代にふさわしい町づくりに向けて、町民の皆様に寄り添い、町執行部と連携し議会運営に努めます。

### 復興と協働のシンボルに

この度の大津町役場新庁舎完成に当たり、ご関係の皆様温かいご支援とご尽力に心より感謝申し上げます。熊本地震の際には、旧庁舎が被災し、災害対応の拠点としての機能を十分に発揮することができませんでした。その教訓を踏まえ、新庁舎は免震構造で、災害時の拠点として活用できるよう整備しております。

普段の利用においても、来庁者窓口や待合スペースを十分確保するとともに、障がい者や子育て世帯にも配慮した設計により、皆様に快適に利用していただける空間づくりに力を入れています。また、現在数カ所に分散している行政機能をまとめることで住民サービスの向上につなげるとともに、役場内部の組織連携を一層強めます。

新庁舎が熊本地震からの復興のシンボルであることと合わせて、町職員と町民の皆様が一体となって町を良くする協働のシンボルとなるよう、今後も皆様に寄り添った町政運営に努めます。



かなだひでき 金田英樹 町長